



支援物資を届けるボランティア

2015年 クリスマス献金

† 主の平和

毎年のクリスマス献金活動へのご協力を感謝いたします。

内戦や紛争を抱える地域が拡大し、また、テロ事件が無防備な市民の尊い命を奪っている
このごろ、クリスマスのメッセージがすべての人の心に届く事を切に願っています。

世界は一つの家族となり、かけがえのない命を授かったすべての子どもに、喜び、愛と希望に満ちた生活ができる環境を与える事を願い、今年もクリスマス献金のご案内を申し上げます。

最近ニュース等で報道されていますエボラ出血熱との苦しい戦いを続けているボランティアの支援を中心に、他に継続支援として、ソマリア、タイとラオスの国境地帯の2件をプロジェクトとして皆様のご協力を、昨年と同様によりしくお願いいたします。

本年度も、同封致しましたプロジェクトの説明書を保護者の皆様方へ配布する際に、ご利用くださいますよう、よろしくお願いいたします。

2015年11月18日

学校法人ザビエル学園
マンニ ピエル ショルジョ

連絡先 加リック聖ザベリオ宣教会・勝田信博迄
〒598-0005 泉佐野市市場東1丁目103番地の1
Fax 072-464-3969 Tel. 090-5663-9232

世界の子どもたちに 愛の手を



ソマリア 学校に通える喜び

2015年 クリスマス献金のお願い



タイ 障害者支援

† 主の平和

クリスマス献金活動へのご協力を感謝いたします。内戦や紛争を抱える地域が拡大し、また、テロ事件が無防備な市民の尊い命を奪っているこのごろ、クリスマスのメッセージがすべての人の心に届く事を切に願っています。

世界は一つの家族となり、皆のお金は死をまき散らす武器の製造の為ではなくて、貧しさと病気で苦しんでいる子どもたちの生命と健康を支える道具の開発と製造に使われる新しい時代の到来を祈ります。

クリスマス献金は、いのちの一滴に過ぎない小さな活動ですが、今年も皆様の寛大なご協力をお願いします。また、この支援は救済に対する子どもたちの関心を高める事に役立てば幸いです。

現地の大変厳しい状況を考えますと、昨年プロジェクトを継続する事にしました。事実、エボラ出血熱との戦いは終結に向かっているようですが、正常な社会生活に戻る事や、孤児の世話、学校の再開などの問題はまだ山積みに残っています。

また、アフリカのソマリア、及び東南アジアのタイとラオスの国境地帯で展開している救済プロジェクトを継続して支援します。皆様の温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2015年11月18日

学校法人ザビエル学園
マンニ ピエル ジョルジョ

2015年 クリスマス献金で支援するプロジェクト

1-中央シエラレオネとリベリア [目標金額60万円]
エボラ出血熱の流行は終結に向かっているが、特に流行地域となったシエラレオネでの社会に深い傷と後遺症が残っています。感染の危険を恐れず、シエラレオネのマケニ州で、諸教会の総力を挙げて、周知・治療・救済活動を担っている宣教師とボランティアを支援します。

2-ソマリア〔継続〕 [目標金額50万円]
「NPO-ISP in Africa」はアルゲジラ地方の子どもたちの教育を引き受けました。文具や給食等の他、先生たちの給与までも提供する責任を担っている「ISP in Africa」の献身的努力にクリスマス献金で協力します。

3-タイとラオスの国境地帯 [目標金額50万円]
タイの国境地帯にラオスから次々に多くの難民が本国から逃れてきて、すべてにおいて乏しい毎日を送っています。彼らを支援するボランティアは、難民同士の理解・協力を推進することからスタートし、貧しい中でも衛生的で人間に相應しい生活の場を築き上げるよう、力を注いでいます。